強豪復活へ力走

神奈川大6位

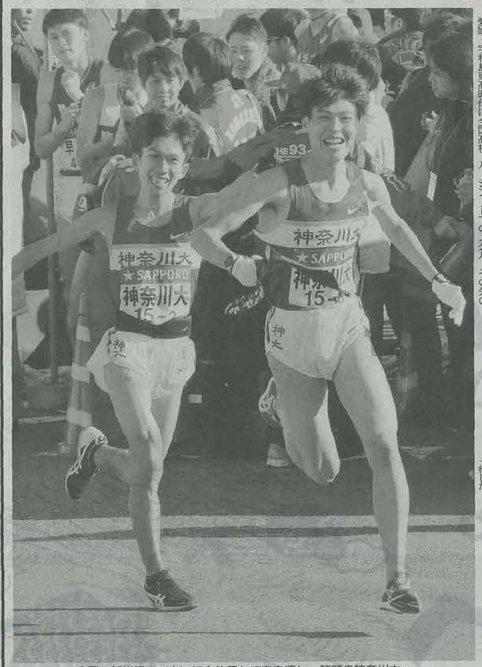
2区歴代8位 鈴木健が区間賞

師の教え胸に成長

【神奈川大区間記録】

区	選手	学年	記録	区間	総合
1区	山藤 旗司	2	1時間4分1秒	⑤	⑤
2区	鈴木 健吾	3	1時間7分17秒	⑪	⑪
3区	越川 堅太	1	1時間5分11秒	⑮	⑬
4区	東 福岡	4	1時間5分37秒	⑧	⑦
5区	大野 日陽	3	1時間16分5秒	⑯	⑥

【桐蔭学園・新潟工】前半17分、ラックから桐蔭学園・畑木がトライを決め、10－0とする＝花園ラグビー場（立石 拓恵す）



3区の越川堅太（右）に1位でたすきを渡し、笑顔の神奈川大・鈴木健吾＝横浜市戸塚区（代表撮影）

第3種郵便物認可

第93回東京箱根間往復大学駅伝競走は2日、東京・大手町から神奈川県箱根町までの5区間、107・5キロ間東京20校とオープン参加の関東学生連合を加えた21チームが参加して行われ、総合2連覇を目指す青学大が5区連覇を達成し、3年ぶりの総合優勝を果たした。

6年ぶりの総合優勝を狙う早大が33秒差の2位につけ、順位がさらに1つ上がった。東洋大が38秒差の3位、駒大が5位、3年ぶりの3位を目指す東海大が6位だった。東海大は10位から順位を上げ、3年ぶりの総合優勝を目指す青学大は2区で区間賞の鈴木健が1位でたすきを受け、3区の秋山雄飛が区間賞の走りで2位に上がり、4区の森田歩希が区間賞の走りで1位に上がり、5区の大塚祥平（駒大）が区間賞の走りで1位を守り、2年ぶりの総合優勝を決めた。

▽往路成績

①青学大（横浜・一色、秋山、森田、貞永）5時間33分45秒
②早大 5時間34分18秒
③順大 5時間36分9秒
④東洋大 5時間36分25秒
⑤駒大 5時間37分46秒
⑥神奈川大 5時間38分11秒
⑦中央学院大 5時間38分20秒
⑧上武大 5時間39分13秒
⑨創価大 5時間39分25秒
⑩日体大 5時間39分55秒
⑪帝京大 5時間40分6秒
⑫法大 5時間40分18秒
⑬日体大 5時間40分29秒
⑭拓大 5時間40分38秒
⑮東海大 5時間41分44秒
⑯山梨学院大 5時間41分56秒
⑰明大 5時間44分42秒
⑱大東大 5時間45分29秒
⑲国学院大 5時間46分52秒
⑳国士舞大 5時間54分57秒
関東学生連合 5時間49分45秒

（青学大は3年連続3度目の往路優勝。関東学生連合はオープン参加のため順位なし）

【経過】1区で首位と4秒差の4位となった青学大は2区で一色が2位に順位を上げ、38秒差でたすきを受けた3区の秋山が区間賞を獲得し2番位に浮上。1分22秒リードで出た4区の森田も区間2位と好走するなど、安定感が光った。

早大は3区で平が2位に浮上。1分28秒差を逆転した5区で差を33秒に縮めた。順大は区間賞に輝いた4区板木力の奮闘で3位に食い込んだ。東洋大は1区で服部がトップに立ったが2、5区が振るわず4位。駒大は4区中谷が区間18位に沈み、5位にとどまった。

【区間1位記録】

▽1区（21.3キロ）服部弾馬（東洋大）1時間3分56秒
▽2区（23.1キロ）鈴木健吾（神奈川大）1時間7分17秒
▽3区（21.4キロ）秋山雄飛（青学大）1時間3分3秒
▽4区（20.9キロ）板木郁也（順大）1時間3分36秒
▽5区（20.8キロ）大塚祥平（駒大）1時間12分46秒

◇箱根駅伝最近10大会の優勝校

年	総合	往	復	復路
2008	駒大	大	大	大
09	東洋大	東洋大	東洋大	東洋大
10	東洋大	東洋大	東洋大	東洋大
11	早大	東洋大	東洋大	早大
12	東洋大	東洋大	東洋大	東洋大
13	日体大	日体大	日体大	駒大
14	東洋大	東洋大	東洋大	東洋大
15	青学大	青学大	青学大	青学大
16	青学大	青学大	青学大	青学大
17	〃	青学大	青学大	〃

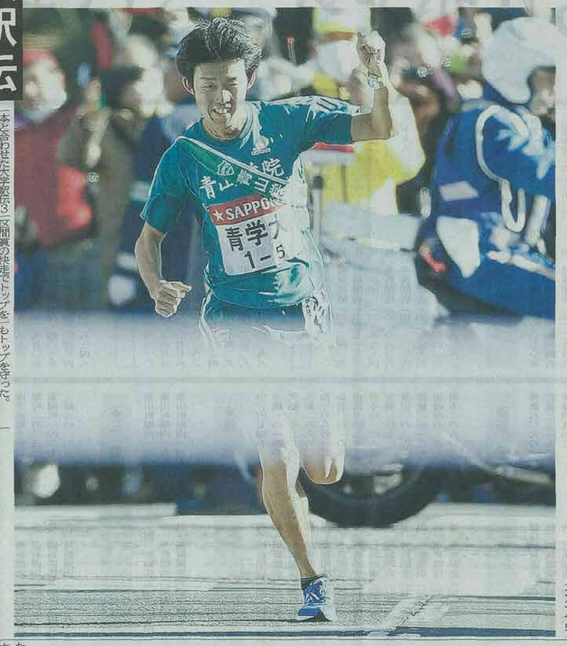
箱根駅伝

青学大 順当往路V

3連覇、3冠へ上々

かなスポ
☎045-227-0170 FAX045-227-0167
E-mail: sports@kanagawa-np.co.jp

家計にやさしい富士通ゼネラル
nocria X



10位でゴールし、ガッツポーズする日大の川口賢人＝箱根町（花輪 久写す）

本と合わせた全駅伝3区間賞の快走でトップを奪った。4年の桑原歩希も38秒後の2位に出た。3日の復路は9区間、107・6キロを競技し、山上りの5区で、3年ぶりの総合優勝を決めた。

前評判通りの強さを発揮し、今年も青学大が往路優勝した。

6区でエース「色」が区間賞を獲得し、差を広げた。7区で2位に入り分差を拡大した。8区で秋山が「飛び」過ぎたが、9区で2位に上がり分差を広げた。2年連続区間賞を獲得した。だが秋山は「飛んではないと思ったけれど、ぼっ過ぎたのはびっくりした」と話した。

「色は『自分は必ず上がる』と言っていた。3年ぶりの優勝を目指す。3区の秋山が中継で首位に浮上。早大が1分22秒差の2位。神奈川大がさらに8秒差の3位。

4区 森田 歩希 2位 21.4キロ

青学大は森田が堅実な走りで首位を守り、2位早大との差を1分29秒に広げた。さらに23秒差で東洋大が3位。

5区 貞永 隆佑 3 20.8キロ

青学大は貞永がトップを守り、3年連続の往路優勝。早大が33秒差の2位。順大が6位から3位に浮上し、東洋大が4位、駒大が5位。

箱根駅伝往路の経過

1区 21.3キロ 東洋大の服部が1位となり、東海大が1秒差の2位。早大が3秒差、3連覇を狙う青学大が4秒差で続いた。

2区 23.1キロ 神奈川大の鈴木健が区間賞の走りで5位から2位へ。青学大が38秒差の2位、駒大がさらに17秒差の3位

3区 21.4キロ 2位で出た青学大の秋山が中継で首位に浮上。早大が1分22秒差の2位。神奈川大がさらに8秒差の3位

4区 20.9キロ 青学大は森田が堅実な走りで首位を守り、2位早大との差を1分29秒に広げた。さらに23秒差で東洋大が3位

5区 20.8キロ 青学大は貞永がトップを守り、3年連続の往路優勝。早大が33秒差の2位。順大が6位から3位に浮上し、東洋大が4位、駒大が5位

【青学大区間記録】

区	選手	学年	記録	区間	総合
1区	櫻谷	一色②	1時間4分0秒	④	④
2区	一色	秋元④	1時間7分56秒	③	②
3区	秋山	雄飛④	1時間3分3秒	①①	①
4区	森田	歩希②	1時間3分43秒	②	①
5区	貞永	隆佑③	1時間15分3秒	⑧	①

小町 来年へ雪辱誓う

日体大13位

館沢、力出し切れず

「悔しさしかない」

15位でゴールした後、抱きかかえられる東海大の館沢亨次＝箱根町（花輪 久写す）

【日体大区間記録】

区	選手	学年	記録	区間
1区	小松	巧弥④	1時間4分32秒	⑬
2区	小町	昌矢③	1時間10分40秒	⑱
3区	吉田	亮悟③	1時間4分7秒	⑭
4区	富安	央③	1時間6分6秒	⑫
5区	辻野	恭敬③	1時間15分4秒	⑬

東海大15位

東海大は中出出出身の大学駅伝で箱根初の新星、4年生、5区期待が出た。「ロードでは、2年ぶりの復活」と意気込んだ。

「（3区・すぎの）雪で、ずっと走ってきたから全部がなくなった。悔しさしかない」

昨年は箱根に青学大の連覇の最有力候補とされ、「2位以下の1年後を」と称されたが、「おごられ、本年リベンジしたい。ひたすら頑張って、涙を流して、ごめんなさい」と話した。

2位早大、連覇へ自信

「色（1区・櫻谷）は区間賞、2区・秋元は区間賞、3区・秋山は区間賞、4区・森田は区間賞、5区・貞永は区間賞。4区の森田は区間賞の走りで差を広げ、5区の貞永は区間賞の走りで差を広げ、区間賞を取ってもらいたい。大会記録を狙う。」

駒大総合V難しい

「2年連続区間賞を獲得した板木郁也（順大）は、エースの中谷雄飛（駒大）が4区で区間18位に沈んだ大会を見ると、5区の大塚祥平（駒大）が区間賞を獲得したことは、駒大にとって大きな意味がある。区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。2区の秋元は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。2区の秋元は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。3区の秋山は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。4区の森田は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。5区の貞永は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。

川口快走「シードを」

日大10位

日大の5区川口は1位で駅伝後に疲労から右足に激痛を起こし、以降は別メニュー調整。「2連覇」を切った33秒リードで臨んだ。区間8位の快走。

実力者がそろう布陣で優勝を狙っていた。昨年度間賞の秋山雄飛が安定すぎる走りで中田歩希が区間賞。「悔しい」と話した。

「復路でも悔しい戦いになる。必ずシードを取ってもらいたい。大会記録を狙う。」

駒大総合V難しい

「2年連続区間賞の板木郁也（順大）は、エースの中谷雄飛（駒大）が4区で区間18位に沈んだ大会を見ると、5区の大塚祥平（駒大）が区間賞を獲得したことは、駒大にとって大きな意味がある。区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。2区の秋元は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。3区の秋山は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。4区の森田は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。5区の貞永は、区間賞を取ったことは、中谷雄飛の区間賞の走りで差を詰め、順位を上げる。

【日大区間記録】

区	選手	学年	記録	区間
1区	西山	雄介④	1時間4分4秒	⑥⑥
2区	上藤	有生③	1時間8分9秒	⑥③
3区	中	史典②	1時間4分33秒	⑥⑤
4区	大塚	祥平④	1時間8分24秒	⑧⑨
5区	大塚	祥平④	1時間12分46秒	①⑤

攻守圧倒 桐蔭8強

全国高校ラグビー

主力に学び躍動

花園初先発の5選手

第96回全国高校ラグビーフットボール大会第4日は1日、東大阪の花園ラグビー場、新潟工に快勝し、準々決勝で3回戦8試合が行われ、勝進出を決めた桐蔭学園（神奈川）は、2年ぶりの8強入。

桐蔭は前半12、17分に2つのトライを先行されるが、後半はプランナー・原田蓮（2）、ハーフ・中田歩（2）、ウイング・小田桐（2）の3年生がトライを奪取。91－0で迫り、11大会連続の優勝を狙う新潟工に食い下がる。

ロ、CTBの渡邊泰斗（2）、FBの松山龍俊（2）の3年生がトライを重ねる。東海大仰星（大阪第1）は決定的なトライを許すなどして、2大会ぶりの優勝を目指すAシードの東福岡（大阪第2